

2025年度 一般選抜問題
前期B日程 2025年1月26日(日)

選 択 科 目

(数学・基礎理科・物理・化学・生物・日本史・世界史・国語)

数 学	1～ 6ページ
基礎理科	7～ 26ページ
※2科目選択して1科目の扱いとなります。	
物 理	27～ 39ページ
化 学	41～ 54ページ
生 物	55～ 67ページ
日 本 史	69～ 80ページ
世 界 史	81～ 95ページ
国 語	97～112ページ

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 3科目型の受験生および3科目型と2科目型を併願する受験生は上記の科目から2科目を、2科目型の受験生は、上記科目と英語から2科目を選択してください。但し受験票に記載された科目以外を受験すると0点となります。
3. 解答用紙には、「**数学**」(青色)と「**基礎理科**」(赤色)と「**数学・基礎理科以外**」(赤色)の3種類があります。
4. 試験開始後、解答用紙に受験番号と名前を必ず記入し、受験番号をマークしてください。数学以外の科目については、解答する科目を選び、科目の右にマークしてください。また解答科目欄に科目名を記入してください。正しくマークされていない場合は0点となります。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄にマークしてください。「**基礎理科**」の解答用紙は2科目を選択し、科目ごとに決められた解答欄にマークしてください。3科目に解答した場合は0点となります。
6. 問題用紙の余白は計算に使用してもかまいませんが、解答用紙を汚してはいけません。
7. 試験開始後、問題用紙・解答用紙に落丁・損傷がないか確認してください。
8. 数学の問題の冒頭には「**解答上の注意**」が記入されていますので、必ず読んでから解答してください。
9. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

世界史

1 前2世紀の世界について述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 前2世紀のヨーロッパでは、共和政期のローマが勢力を拡大していた。3回にわたるポエニ戦争に勝利したローマは東方のヘレニズム世界に進出し、前2世紀半ばには(a) マケドニアやギリシア諸ポリスを征服して地中海の覇者となった。一方、長らく続いた征服戦争は、国防の主力を担う中小農民を疲弊させることになった。(b) 属州から安価な穀物が流入したこともあり、中小農民の多くは没落して無産市民となった。この危機に対し、前2世紀後半に護民官となった **ア** は自作農の再建をはかる改革を行ったが、**イ** の反対により失敗した。これ以後、ローマでは内乱が続き、政治家は **イ** を中心とする閥族派と、無産市民や騎士が支持する平民派にわかれて争った。

問1 文章中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～

④のうちから一つ選びなさい。 **1**

- ① **ア**－クラッスス **イ**－元老院
- ② **ア**－クラッスス **イ**－民会
- ③ **ア**－グラックス兄弟 **イ**－元老院
- ④ **ア**－グラックス兄弟 **イ**－民会

問2 下線部(a)に関連して、マケドニアやギリシア諸ポリスの歴史について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

2

- a** マケドニアのフィリッポス2世は、コリントス同盟（ヘラス同盟）の盟主となった。
- b** 前2世紀のギリシアは、暗黒時代（初期鉄器時代）とよばれる混乱期をむかえた。

- ① **a**－正 **b**－正 ② **a**－正 **b**－誤
- ③ **a**－誤 **b**－正 ④ **a**－誤 **b**－誤

問3 下線部(b)について、次の年表に示した a～d の時期のうち、ローマが初めて属州を獲得した時期として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 3

a	前 367 年 リキニウス・セクスティウス法を制定した
b	前 264 年 第 1 回ポエニ戦争が始まった
c	前 149 年 第 3 回ポエニ戦争が始まった
d	

- ① a ② b ③ c ④ d

B アレクサンドロス大王の死後、ギリシア系のセレウコス朝シリアが西アジアを支配した。前 2 世紀、セレウコス朝はローマと抗争し、前 1 世紀には第 1 回三頭政治に参加したことで知られる ウ に敗北した。前 3 世紀、アム川上流域のギリシア人がセレウコス朝から独立して エ を建て、イラン人の族長アルサケスがカスピ海東南部にパルティアを建てた。パルティアは前 2 世紀にティグリス川東岸のクテシフォンを都に定め、この都市は後に(c) ササン朝 の都ともなった。パルティアは東西交易路をおさえて繁栄し、中国から安息とよばれた。

南アジアでは、(d) マウリヤ朝 が衰退し、北インドは政治的に不安定となった。また、マウリヤ朝の衰退に乗じて、ギリシア人勢力が エ から西北インドに進出した。

問4 文章中の空欄 ウ ・ エ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 4

- ① ウーポンペイウス エーバクトリア
 ② ウーポンペイウス エーリディア (リュディア)
 ③ ウーレピドゥス エーバクトリア
 ④ ウーレピドゥス エーリディア (リュディア)

問5 下線部(c)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 5

- a キュロス 2 世によって建てられた。
 b ゾロアスター教を国教とした。

- ① a - 正 b - 正 ② a - 正 b - 誤
 ③ a - 誤 b - 正 ④ a - 誤 b - 誤

問6 下線部(d)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① チャンドラグプタ王によって開かれた。
- ② 都をプルシャプラに定めた。
- ③ マウリヤ朝成立と同時期に、南インドでサータヴァーハナ朝が成立した。
- ④ ナーランダー僧院が建てられた。

C 前2世紀の東アジアでは、成立間もない前漢が支配体制を固めていた。前漢を樹立した高祖は、秦の制度の多くを受け継ぎながらも、郡県制と封建制を併用する郡国制を採用した。対外的には(e)匈奴に敗れ、和平をはかった。前154年の呉楚七国の乱平定後、前漢では中央集権体制が確立した。前漢は前141年に即位した武帝のもとで最盛期をむかえた。武帝は、匈奴を撃退し、中国南部から(f)ベトナム北部を支配した南越や衛氏朝鮮を滅ぼすなど積極的な対外政策をとった。また、新たな(g)官吏登用制度を設け、(h)儒学を官学として国家体制の維持につとめた。

問7 下線部(e)について、前漢の高祖に勝利した匈奴の君主として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 王建
- ② 完顔阿骨打(太祖)
- ③ 大祚榮
- ④ 冒頓单于

問8 下線部(f)について述べた次の出来事 a～c が、時代の古い順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

- a 黎朝が成立した。
- b 李朝が成立した。
- c 陳朝が成立した。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問9 下線部(g)について、武帝が採用した官吏登用制度と、その説明の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

武帝が採用した官吏登用制度

- a 郷挙里選
- b 九品中正

説明

- あ 地方長官の推薦によって官吏を推薦する制度。
- い 中正官が人材を等級づけて推薦する制度。

- ① a－あ
- ② a－い
- ③ b－あ
- ④ b－い

問10 下線部(h)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 10

- ① 漢代には、『文選』や『詩経』などの五経が重視された。
- ② 後漢の時代には、訓詁学が大成された。
- ③ 唐代には、孔穎達が『五経大全』を編纂した。
- ④ 宋代には、陽明学が成立した。

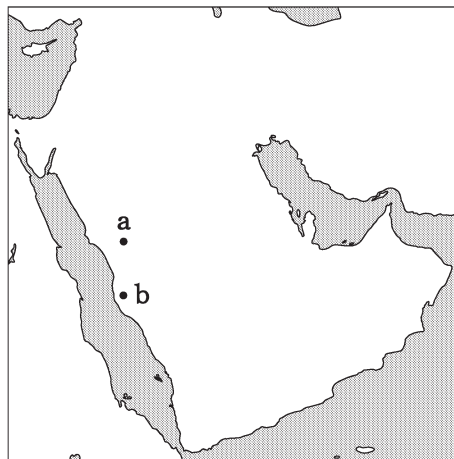
2 イスラーム世界の成立と発展について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えなさい。

A メッカ(マッカ)のクライシュ族に生まれたムハンマドは、610年頃から唯一神アッラーの啓示を受けた預言者としての宗教活動を開始し、イスラーム教を広めた。ムハンマドは有力者によって迫害されたため、(a)622年にメッカからメディナに移住し、イスラーム教徒(ムスリム)の共同体を成立させた。ムハンマドの死後、その後継者として **ア** が初代正統カリフに選出された。正統カリフの時代にはアラビア半島外への征服活動が開始され、(b)ビザンツ帝国からシリアやエジプトを奪った。ムスリム軍が征服した地には、 **イ** とよばれる軍営都市が建設され、多くのアラブ人が移住した。

問1 文章中の空欄 **ア**・**イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **11**

- ① アーウマル イーミット
- ② アーウマル イーミスル
- ③ アーアブー=バクル イーミット
- ④ アーアブー=バクル イーミスル

問2 下線部(a)について、この出来事を指す言葉と、メディナを示す次の地図中の **a** または **b** の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 **12**



- ① ジハードー **a** ② ジハードー **b** ③ ヒジュラー **a** ④ ヒジュラー **b**

問3 下線部(b)について述べた次の出来事 a～c が、時代の古い順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 13

- a 第4回十字軍によって都が占領された。
- b ユスティニアヌス1世(大帝)がハギア(セント)＝ソフィア聖堂を造営した。
- c プロノイア制が導入された。

- ① a→b→c ② a→c→b ③ b→a→c
- ④ b→c→a ⑤ c→a→b ⑥ c→b→a

B 第4代正統カリフのアリーが暗殺されると、シリア総督ムアウィヤはウマイヤ朝を開き、カリフ位を世襲するようになった。(c) ウマイヤ朝の時代にも征服活動が進められ、被征服地の人々から税を徴収した。しかし、(d) イスラーム教を受け入れた新改宗者でも税を免除されなかったため、人々はアラブ人支配層に対する不満をつのらせるようになった。このような対立に乗じてアッバース家がウマイヤ朝を滅ぼし、750年に(e) アッバース朝を開いた。アッバース朝のもとでは多様な学問が興隆し、西アジアならびに周辺地域の文化とイスラーム教、アラビア語などが融合したイスラーム文化が発展した。その後、イスラーム教が各地に伝播することにより、イラン＝イスラーム文化やトルコ＝イスラーム文化、(f) インド＝イスラーム文化などが成立した。

問4 下線部(c)について、ウマイヤ朝時代の征服活動について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 14

- ① トゥール・ポワティエ間の戦いに敗れた。
- ② 東ゴート王国を滅ぼした。
- ③ ニハーヴァンドの戦いでササン朝に勝利した。
- ④ タラス河畔の戦いに勝利した。

問5 下線部(d)について、非アラブ人のイスラーム改宗者の総称として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 15

- ① スーフィー ② マワーリー ③ ウラマー ④ アーヤーン

問6 下線部(e)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 16

- a ハールーン＝アッラシードの時代に最盛期をむかえた。
- b バトゥによって滅ぼされた。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
- ③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問7 下線部(f)について、インド=イスラーム文化の代表とされる建築物と、その建築物を建てた国の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 17

インド=イスラーム文化の代表とされる建築物

a タージ=マハル b イマームのモスク

建築物を建てた国

あ ムガル帝国 い 奴隷王朝

① a-あ ② a-い ③ b-あ ④ b-い

C イスラーム世界が拡大するにつれ、(g)各地に独自の地方政権が成立するようになった。ウマイヤ朝滅亡後、その一族はイベリア半島に逃れ、ウを都とする後ウマイヤ朝を開いた。後ウマイヤ朝の君主はアッバース朝カリフの権威を否定しなかったが、10世紀に成立した(h)ファーティマ朝の君主がカリフを称すると、後ウマイヤ朝の君主もカリフを称するようになり、イスラーム世界の分裂は決定的なものとなった。10世紀半ばにはブワイフ朝がバグダードに入城し、アッバース朝の支配は名目的なものとなった。11世紀半ばには、セルジューク朝がブワイフ朝を追放してバグダードに入城し、セルジューク朝の君主はアッバース朝カリフからエの称号を授かった。

問8 文章中の空欄ウ・エに入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 18

- ① ウーコルドバ エー大アミール
② ウーコルドバ エースルタン
③ ウーグラナダ エー大アミール
④ ウーグラナダ エースルタン

問9 下線部(g)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 19

a アフガニスタンには、トゥールーン朝が成立した。
b 中央アジアには、サーマーン朝が成立した。

- ① a-正 b-正 ② a-正 b-誤
③ a-誤 b-正 ④ a-誤 b-誤

問10 下線部(h)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 20

- ① 都のカイロにムセイオンを建てた。
- ② イクター制を創始した。
- ③ 宰相のラシード=アッディーンが『集史』を編纂した。
- ④ サラーフ=アッディーン（サラディン）によって滅ぼされた。

3 ネーデルラント史について述べた次の文A～Cを読み，下の問い（問1～10）に答えなさい。

A ネーデルラントとは，現在のベルギー・オランダ・ルクセンブルクとフランス北部をあわせた地域の呼称で，「低地地帯」を意味する。(a) フランク王国の分裂後，ネーデルラントは中部フランク，東フランクの支配下に入り，神聖ローマ帝国に組み込まれた。ネーデルラントは(b) 北ヨーロッパ商業圏に属し，ネーデルラントの南部地域にあたるフランドル地方は 毛織物生産で栄えた。15世紀後半になると，ネーデルラントはハプスブルク家の所領となり，ハプスブルク家出身の(c) 神聖ローマ皇帝カール5世（スペイン王カルロス1世）は，退位する際，子のフェリペにスペイン・ネーデルラントを，弟のフェルディナントにオーストリアを継承した。

問1 下線部(a)について，次の年表に示したa～dの時期のうち，フランク王国が分裂した時期として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選びなさい。 21

a
476年 西ローマ帝国が滅亡した
b
726年 聖像禁止令が発布された
c
1066年 ノルマン朝が成立した
d

① a ② b ③ c ④ d

問2 下線部(b)について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選びなさい。 22

a ハンブルクなどの北ドイツ諸都市は，北ヨーロッパ商業圏に属した。
b フランドル地方の都市として，ガン（ヘント）やブリュージュ（ブルッヘ）が知られる。

① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問3 下線部(c)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 23

- ① プレヴェザの海戦でオスマン帝国に勝利した。
- ② イタリア戦争でフランスと戦った。
- ③ ポルトガル王家断絶により、ポルトガルの王位を兼ねた。
- ④ ナントの王令により、条件つきでユグノーの信仰の自由を認めた。

B 16世紀後半、ネーデルラントでカトリック化政策をとったスペイン王フェリペ2世の圧政に対し、オランダ独立戦争が勃発した。現在のほぼオランダにあたる北部7州は ア を結成してスペインに抵抗したが、カトリックの多い南部10州はスペイン支配下にとどまった。オランダは1609年の休戦条約によって事実上独立を果たし、(d)東インド会社や西インド会社を設立してアジアやアメリカ大陸に進出した。国際商業の中心となったアムステルダムでは(e)文化が栄えたが、17世紀後半の(f)イギリス=オランダ(英蘭)戦争の敗北などにより、次第にオランダの国力は衰退していった。フランス革命・ナポレオンの時代にオランダはフランスの支配下におかれたが、ウィーン会議によってオランダ王国となり、南ネーデルラントを獲得した。南ネーデルラントは、1830年にフランスで起こった イ の影響を受け、ベルギーとしてオランダからの独立を宣言し、1831年に立憲王国となった。

問4 文章中の空欄 ア ・ イ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 24

- ① アー神聖同盟 イー七月革命
- ② アー神聖同盟 イー二月革命
- ③ アーユトレヒト同盟 イー七月革命
- ④ アーユトレヒト同盟 イー二月革命

問5 下線部(d)に関連して、17世紀のオランダの海外進出について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 25

- ① アメリカ大陸にニューアムステルダムを建設した。
- ② アフリカ南部にケープ植民地を建設した。
- ③ ジャワ島のバタヴィアに拠点を築いた。
- ④ アンボイナ事件により、スペイン勢力を東南アジアから退けた。

問6 下線部(e)に関連して、17世紀のオランダで活躍した哲学者と、その事績の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 26

17世紀のオランダで活躍した哲学者

a スピノザ b パスカル

事績

あ 『愚神札賛』を著した。

い 汎神論をとなえた。

① a-あ ② a-い ③ b-あ ④ b-い

問7 下線部(f)について、1651年に制定され、イギリス=オランダ(英蘭)戦争の原因ともなった法律として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 27

① 茶法 ② カトリック教徒解放法 ③ 穀物法 ④ 航海法

C 第二次世界大戦が勃発すると、ドイツはオランダとベルギーに侵入して両国を降伏させ、(g) 1945年にドイツが降伏したことでオランダとベルギーは解放された。

第二次世界大戦終結後、オランダ領東インドでは ウ がインドネシア共和国の成立を宣言した。オランダはこれを認めず武力介入を行ったが、1949年にインドネシアは独立を果たした。一方、冷戦が激化する過程で、オランダ・ベルギーなど西欧5か国は西ヨーロッパ連合条約(ブリュッセル条約)を結び、1949年には エ を結成した。また、1950年代以降、地域統合の動きが強まると、オランダやベルギーは(h) 西欧統合の動きに参加した。

問8 文章中の空欄 ウ ・ エ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 28

- ① ウースカルノ エーワルシャワ条約機構
- ② ウースカルノ エー北大西洋条約機構(NATO)
- ③ ウースハルト エーワルシャワ条約機構
- ④ ウースハルト エー北大西洋条約機構(NATO)

問9 下線部(g)について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 29

- a** ドイツの無条件降伏をきっかけとして、イタリアは連合国に無条件降伏した。
b ポツダム会談では、ドイツの管理問題などが協議された。

- ① **a**－正 **b**－正 ② **a**－正 **b**－誤
③ **a**－誤 **b**－正 ④ **a**－誤 **b**－誤

問10 下線部(h)について述べた次の出来事 **a**～**c** が、時代の古い順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 30

- a** ヨーロッパ経済共同体（EEC）が発足した。
b イギリスがヨーロッパ共同体（EC）に参加した。
c ヨーロッパの共通通貨ユーロの使用が開始された。

- ① **a**→**b**→**c** ② **a**→**c**→**b** ③ **b**→**a**→**c**
④ **b**→**c**→**a** ⑤ **c**→**a**→**b** ⑥ **c**→**b**→**a**

4 世界史上の政党について述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A イギリスでは、17世紀の王政復古期に **ア** の王位継承を認める人々によってトーリ党が、王位継承に反対した人々によってホイッグ党が結成された。**ア** は即位後に専制政治を行って名誉革命を引き起こし、フランスに亡命したことで知られる。19世紀になると、トーリ党の後身である保守党とホイッグ党の後身である自由党が二大政党となった。(a) ヴィクトリア女王の時代には保守党と自由党が交互に政権を担当する議会政党政治が定着し、(b) 選挙法改正などの議会改革が行われた。20世紀に入ると、**イ** などによって結成された労働代表委員会を前身とする労働党が成立した。労働党は第一次世界大戦後の総選挙で躍進し、1924年には自由党との連立内閣として第1次マクドナルド内閣が成立した。1929年には労働党単独で第2次マクドナルド内閣が成立したが、失業保険の削減をめぐって党の支持を失い、内閣総辞職に追い込まれた。その後、マクドナルドは保守党・自由党と結び、(c) 1931年に挙国一致内閣を組織した。

問1 文章中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **31**

- ① **ア**＝ジェームズ2世 **イ**＝フェビアン協会
- ② **ア**＝ジェームズ2世 **イ**＝シン＝フェイン党
- ③ **ア**＝チャールズ2世 **イ**＝フェビアン協会
- ④ **ア**＝チャールズ2世 **イ**＝シン＝フェイン党

問2 下線部(a)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **32**

- ① アイルランド自治法が制定された。
- ② ウェストミンスター憲章が制定された。
- ③ 第1回対仏大同盟が結成された。
- ④ インド帝国が成立した。

問3 下線部(b)について、選挙法改正の歩みについて述べた次の出来事 a～c が、時代の古い順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 **33**

- a 都市労働者に選挙権が拡大した。
- b 男女普通選挙が実現した。
- c 腐敗選挙区が廃止された。

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
- ④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

問4 下線部(c)について、マクドナルド挙国一致内閣時代の出来事について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

34

- a オタワ連邦会議（イギリス連邦経済会議）が開催された。
b 金本位制の導入が決定された。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

B アメリカ合衆国では、19世紀に民主党と共和党の二大政党が形成された。民主党は、白人男性普通選挙制などの民主化を進めた **ウ** の支持者によって1820年代に結成された。一方、共和党は、奴隷制に反対する人々によって1854年に組織された。南部を基盤とする民主党と北部を基盤とする共和党は、奴隷制をめぐる問題などによって対立した。1860年の大統領選挙で共和党の **エ** が勝利したことがきっかけとなって、1861年に南部はアメリカ連合国(南部連合)を発足させ、合衆国北部と争った。(d)南北戦争後、勝利した北部の主導によって再建が進められ、20世紀初頭まで共和党が政権を担うことが多かった。第一次世界大戦後の1920年代にも共和党政権が続いたが、共和党政権は世界恐慌に対して有効な手段をとることができず、(e)恐慌対策を掲げた民主党のフランクリン＝ローズヴェルトが1932年の大統領選挙に勝利した。

問5 文章中の空欄 **ウ** ・ **エ** に入る人名の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 35

- ① ウーモンロー エーワシントン
② ウーモンロー エーリンカン
③ ウージャクソン エーワシントン
④ ウージャクソン エーリンカン

問6 下線部(d)について、南北戦争後のアメリカ合衆国について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 36

- a 合衆国憲法が修正され、奴隷制が正式に廃止された。
b 南部では、クー＝クラックス＝クラン（KKK）などの秘密結社が黒人を迫害した。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問7 下線部(e)について、フランクリン=ローズヴェルト政権が実施した恐慌対策の総称として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 37

- ① 「偉大な社会」計画 ② ニューフロンティア政策
③ ニューディール ④ カリブ海政策

C 第一次世界大戦後の中国では、中国国民党と中国共産党が結成された。国民党と共産党は1924年から協力体制をとったが（第1次国共合作）、1927年の上海クーデタによって国共合作は崩壊した。その後、国民党右派の蔣介石によって建てられた南京国民政府は中国を統一し、農村に根拠地を築いた共産党を攻撃した。1930年代に入り、(f) 日本の軍事行動が拡大したが、国民政府は日本への対応よりも共産党との戦いを重視した。一方、(g) 共産党は1935年に抗日民族統一戦線の結成をよびかけた。1936年の西安事件がきっかけとなって国共の内戦は停止され、日中戦争勃発を機に第2次国共合作が成立した。しかし、第二次世界大戦終結後に国民党と共産党の対立は再燃し、国共内戦に勝利した共産党は(h) 中華人民共和国の成立を宣言した。

問8 下線部(f)について、日本の軍事行動と、その内容の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 38

日本の軍事行動

- a 満洲事変 b 盧溝橋事件

内容

- あ 軍閥の張作霖を爆殺した。
い 柳条湖で鉄道を爆破し、これを中国軍のしわざであると称した。

- ① a－あ ② a－い ③ b－あ ④ b－い

問9 下線部(g)について、1935年に抗日民族統一戦線の結成を主張して共産党が発表した宣言として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 39

- ① カラハン宣言 ② 門戸開放宣言 ③ 十月宣言 ④ 八・一宣言

問10 下線部(h)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 40

- ① 国家主席となった劉少奇は、「大躍進」を主導した。
② アメリカ合衆国のケネディ政権との間で、米中国交正常化が実現した。
③ プロレタリア文化大革命期、鄧小平は実権派（走資派）として非難された。
④ 首相となった林彪は、「四人組」を逮捕した。

(このページは、空白である。)